

VCS Expressway のコールがローカル (非トラバーサル) コール ライセンスを使用するのはいつですか。

目次

[概要](#)

[VCS Expressway のコールがローカル \(非トラバーサル \) コール ライセンスを使用するのはいつですか。](#)

[関連情報](#)

概要

この記事は、Cisco TelePresence Video Communication Server Expressway に関連しています。

Q. VCS Expressway のコールがローカル (非トラバーサル) コール ライセンスを使用するのはいつですか。

A. 横断コールは VCS がメディア、またシグナリングを奪取するコールです。通常 VCS Expressway は横断コールライセンスがそれに直接登録されているデバイス間のコールのためのコールを、ルーティングすることを必要とします。これはメディアはコールのエンドポイント間でルーティング可能であることを保証するためにファイアウォールの後ろのエンドポイントは VCS Expressway がメディアを受け取り、転送することを必要とするという理由によります。

次の場合にはローカル (非走査) コールがあると同時に VCS Expressway を通るコールが分類される唯一の状況:

- SIP は必要な H.323 インターワーキングへありません
- IPv4 は必要な IPv6 インターワーキングへありません
- コールは VCS Expressway から横断ゾーンを通して、ルーティングされていません
- どちらのエンドポイントも有効になる走査 (すなわち、どちらのエンドポイントも同意と登録されませんでしたまたは H.460.18/19 およびどちらのエンドポイントも同意が H.460.18/19 を要求するコールを作りませんでした)、ではありません
- コールはから受信され、に発信されます:直接 Wide Area Network に接続されるエンドポイントが隣接ゾーンまたはエンドポイントが Wide Area Network に直接接続されるように (シグナリングを現われさせるビデオ呼出をサポートする H.323 Application-Level Gateway (ALG) が SIP が)、またはあるファイアウォールの後ろのエンドポイントが隣接ゾーン (VCS バージョン X5 またはそれ以降を使用する場合) ローカルで登録されていた氷有効にされた エンドポイント

注: ファイアウォール走査を援助するために、すべての TANDBERG エンドポイントは有効になる走査であり、従ってコールに関連するエンドポイントの少なくとも 1 つが TANDBERG エンドポイントのとき走査ライセンスは必要常にです。

注: VCS Expressway の非走査コールは VCS バージョン X5 またはそれ以降を使用している場合) 利用可能 な非走査コール ライセンスがない場合横断ライセンスを消費します (。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)